

大地申
 第9号

「営業関係施策」に関する説明申し入れ交渉開催! その3

5. 今体制見直しが「ライフサイクル深度化」施策の運用に大きく影響することが予想されることから、その内容を具体的に明らかにすること。

回答：「ライフサイクル」の深度化については、覚書等を踏まえ進めてきているところである。

組合：ライフサイクル施策において、運用場面での影響があると思うがどうか？

会社：覚書に踏まえて進めて行く。施策についての考え方は変わらない。

組合：作業ダイヤが減り規模は減るのではないかと？

会社：各駅・区所の状況を勘案していく。

組合：規模が減ると認識する。13陣は多くの方が希望されていると把握している。秋の面談以降に今施策知った方もいる。そういった方へのフォローをしていただきたい。

会社：周知の仕方は、覚書を踏まえながら面談をしている。全てが希望にどおりになるわけではなく希望を書いたから終わりではなく、何かあれば管理者・現場長に言っていただきたい。

組合：異動箇所に変化はあるのか？

会社：提示している6駅で変わらない。大きく作業ダイヤを組み換えているので踏まえていく。



6. 委託先会社の執務スペース及び執務箇所に設置される設備を明らかにすること。

7. 委託先会社の休養室や浴室等の設置箇所を明らかにすること。

回答：業務を行う上で必要な設備等は整備していく考えである。

組合：委託先に整備する設備は具体的に何か。

会社：PC（遺失物システム・イントラ ATOS）、電話（鉄電・NTT）、FAX、構内テレスピー、旅客一斉など必要なものは整備する。

組合：休養室や浴室についてはどう考えているか。

必要な設備は整備することを確認!

会社：同じスペースでも問題ないと考えているが状況に応じて対応する。南浦和は駅長室脇に休憩室や寢室を整備する。小金井は遺失物承り所内で休憩。寢室は本体の寢室を切り分ける。宇都宮は遺失物承り所内にスペースがあるので寢室も含めて整備する。それぞれ駅と調整する。

8. JR本体及び委託先会社の教育について考え方を明らかにすること。

回答：今施策に伴う業務内容の変更点等については、前広に社員に情報開示し、必要な改善を加えるなど対応を行っていく考えである。また、施策実施に向けて、受託会社社員の実習を進めていく考えである。

組合：営業社員が終電接続を行うとのことで不安の声が出ているが、どのように考えているのか。

会社：新しい業務については教育を行っていく。合図灯の扱いもあるのでしっかりと行う。

組合：委託先社員はできることが限られる。列停の復帰や線路上の落とし物拾得などは「できない」ことを教育することが必要と考えるが、どうか。

会社：必要な教育は実施していく。委託先の社員が線路に降りることのないようにしていく。

「ライフサイクルの深度化」施策の運用や、業務に必要な設備や教育について議論し、考え方を明らかにしました!!

その4へ続く